



〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-15オリエンビル6階
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
TEL.03-6380-8021 FAX.03-6380-8435
e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp
U R L : www.zenkaikyou.or.jp
twitter: @zenkaikyou
facebook: 全国牛乳流通改善協会

新年のご挨拶



一般社団法人全国牛乳流通改善協会
会長 橋本正敏

新年あけましておめでとうございます。
平成二十六年の年頭に当たり、全

国の全改協の加盟店をはじめ関係者の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、日頃、皆様方から賜りました格別のご支援、ご協力に對しまして、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は「昨年暮れに行われた衆議院議員総選挙において自民党が勝利し、第二次安倍内閣が誕生しました。安倍内閣は、長年続いてきたデフレからの脱却を図るべく「三本の矢」を柱とする経済政策(いわゆるアベノミクス)を打ち出しました。それは世界から概ね受け入れられ、為替市場は円高から円安へ移行し、株価が上昇しました。その結果、大手企業の三月末決算は好決算となりました。しかし、我々の日常においては経済が好転したと言う実感からは程遠いものがあります。まだまだお

お客様の心とお財布は固く閉ざされています。今年は賃上げを行う企業が増える見通しですので、消費に回るお金が増えることを期待します。
昨年またまた自然の脅威に見舞われました。豪雪、猛暑を越えた酷暑、夏の大雨、竜巻、台風などがありました。被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。
明るいニュースとしては、二〇二〇年のオリンピック、パラリンピックの東京開催が決定したことです。また、プロ野球界では東北楽天が球団創設九年目で初の日本一に輝きました。監督、選手そしてファンが一丸となって勝ち得た栄冠に惜しみない拍手を贈りたいと思います。地元仙台のみならず東北の方々にとっては「あまちゃん」のヒットに続く明るいニュースだったと思います。

さて、酪農乳業界に目を転じてみますと、昨年は大きな話題が三つありました。ひとつは日本のTPPへの交渉参加です。現在、合意に向けて交渉が進んでいますが、生産者の方々や乳製品の生産がどの程度影響を受けるのか非常に気になるようです。二つ目は昨年十月から飲用牛乳等のメーカー出荷価格が改定されたことです。一〇〇〇mlで五円、二〇〇mlで二円のUPですが牛乳販売店にとっては経営に影響する出来事です。そして三つ目は国際酪農連盟が主催する「ワールドデイリーサミット二〇一三」が日本・横浜で開催されたことです。「牛乳の再認識」というテーマのもとに、世界中から二千二百名が参加しました。全改協としては生処販の翼を担うことから流改協に参加を呼び掛けました。その結果二十一名の参加があり、研究発表を聴講しました。

全改協は創設以来、牛乳の普及、牛乳販売店の活性化を促進する活動をして参りました。昨年は牛乳の需要を喚起すべく「牛乳の日・牛乳月間」をもっと消費者に広めようとする取組みが「ミルクを中心として行われしました。全改協としてもポスターを作成し、皆様方にお配りしました。今年も引き続きミルクカレンダーの制作・配布などにより「牛乳の日・牛乳月間」の認知度を上げる活動を行うとともに、牛乳の効果・効用を消費者に直接伝える活動も行つて参ります。

酪農乳業界をリードする「一般社団法人「Jミルク」は牛乳の普及に役立つ研究事業を行っています。そこで得られた研究成果は随時皆様方にお伝えしますので、お客様にご紹介していただき、繋がりを強めていただきたいと思います。
社会全体に「安心・安全」社会貢献「地域密着」のニーズが高まってきております。全改協の柱の事業でもある「優良事例事業」はこの様な社会のニーズに対して取組んでいる加盟店の事例を採用し、発表会を行っています。それらの事例は「優良事例集」に細かく紹介していますので是非お読みいただき、取り入れていただきたいと思います。
その他にも、中学生に牛乳販売店の業務を体験してもらおう「体験事業」や、妊産婦の方に牛乳代を助成する事業など、直接消費者に働きかける事業を行つて参ります。今年も事業への積極的な参加をお願いいたします。

さて、四月一日から消費税が五%から八%に引き上げられます。全改協としては、昨年十一月の全国都道府県流改協会長会議で説明会を開き、中央官庁の担当官から直接説明していただきました。消費税増税後、加盟店の皆様が活動し易いよう

に「転嫁カルテル」と「表示カルテル」を届出しました。詳細は全改協だより今号の中刷りのページで紹介しています。
今年一般社団法人としての二年目を迎えます。組織や財政に課題はありますが、効果効率の良い運営方法を採用して参ります。全改協の認識を高めるために、現在、全改協の加盟店としてのステッカーをお届けできるよう準備を進めています。
全改協は公益財団法人食品流通構造改善促進機構(食流機構)のメンバーの一員でもあります。今後、組織力を高めるために食流機構のメンバー団体との連携も必要かと思つております。
新年を迎え、今年も明るく、希望の持てる良き年にしたいものであります。その実現に向けて、都道府県流改協の組織を固め、加盟店様の経営内容の充実を図り、魅力のある牛乳販売店づくりを皆様とともに考え、努力し、実行して参りたいと考えておりますので、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。
皆様の益々のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

紙面から



全国都道府県流改協会長会議を開催 (二面)
理事会を開催 (二面)
事業の実施報告 (三面)
（仮）ブロック会議の新設について (三面)
インフォメーション (四面)
消費税率引き上げとその対応について（中刷り）

謹賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます

一步進んだカルシウム習慣

カルシウム

ミルク由来の機能素材

MBP

ラクトビオン酸

ビタミンD

カルアクトイブ ヨーグルト

宅配専用

雪印メグミルク 宅配フリーダイヤル 0120-758-369 http://www.meg-snow.com/takuhai/

全改協 平成二十五年度 全国都道府県流改協 会長会議を開催

全改協は、平成二十五年十二月九日(土)、東京 四谷の主婦会館 プラザエフにて、全国都道府県流改協会長会議と、それに先立って理事会を開催しました。

会長会議

全国の流改協の会長が一堂に



会長会議(消費税説明会)の様子

全国都道府県流改協会長会議(会長会議)は、総会、優良事例発表会とならんで、流改協の会長が一堂に会する貴重な機会です。今回は全改協の役員、理事、都道府県流改協の会長あわせて三十六名が出席されました。今号の紙面三面で触れますが、各流改協の会長が東京に集まる形式で開催する会長会議は、今回で最後となりました。

また今回は、本年四月から実施される消費税の引き上げについて、商品の価格に消費税が適正に転嫁されるために留意すべき点について、関係省庁から担当者を引き、説明会の場を設けました。

「消費税転嫁対策特別措置法 事業者向け説明会」を開催

消費税率引き上げへの詳しい対応は中刷りのページをお読みください

本年四月から消費税が現行の5%から8%に引き上げられます。消費税は、事業者が納税義務者として消費税相当額を納税することとされています。この、事業者が負担する消費税相当額は販売価格に転嫁され、最終的には消費者が負担することとされていますが、税額のアップにより、その転嫁がうまくされないことが考えられます。今回の説明会は、こういった事態がないようにするために、
●適正な消費税の転嫁
●転嫁を阻害する行為の是正
などについて、担当官庁の担当官から詳細な説明を受けたものです。

また、わたしたちの業界にとって、お客様に対して消費税を転嫁していることを正確に伝えることが重要となります。このため、価格転嫁の方法や表示について統一した行動をとること(＝カルテルを結ぶこと)が政府から認められており、全改協としてはこのカルテルを公正取引委員会に届け出る方針であることを、各会長に報告いたしました。

本年度事業の進捗

次いで、本年度の四つの事業の進捗について、事務局から説明しました。各事業については、三面でご紹介しています。

その他報告事項

「ワールドデイルーサミット二〇一三」の開催・参加報告がありました。これについての詳しい内容は四面をごらんください。

また各都道府県流改協に対して、加盟店数調査にご協力いただき、ありがとうございます。加盟店数調査は定期的に実施している重要な調査です。この調査結果に基づいて、各都道府県に、本機関紙『全改協だより』やミルクカレンダー、優良事例集等を配布する部数などを算出します。

(仮称)ブロック会議の設置

会長会議の最後に、橋本会長より、地域ブロック単位での会議の開催(仮称)ブロック会議)を来年度(平成二十六年)より実施するという告知がありました。会長会議に先だって開催された理事会で承認を受けたものです。

この会議は、本年度まで開催していた「都道府県流改協会長会議」と、「都道府県流改協事務局担当者会議」をあわせた形の会議です。「各都道府県流改協の活性化」と「全改協事業の推進」を目的に、全国を四つのブロックに分け、通常総会終了から日数をおかず、その年度の全改協事業の説明と、地域の流改協の活性化を図ることが目的です。くわしくは三面をごらんください。

理事会

全改協 平成二十五年度 第二回理事会を開催

理事会の内容をご報告します。

理事会は、成立に必要な定数の過半数の理事の出席を得て成立しました。橋本会長の「平成二十六年四月からの消費税増税などを原因とする市場環境の変化と国家の財政赤字により、社会全体の福祉が削減されることは避けられない見通しであり、特に高齢者の家計に大きな影響が出る懸念がある。高齢者は、牛乳販売店の顧客の多数を占める層であり、われわれの業務にも影響が出てくる懸念がある。これが進めば、最悪の事態として業界内の組織再編という事態も考えなければいけなくなるかもしれない。全改協も、原点に戻ってどのような活動をしなければならぬのかを、再度考えなくてはならない」との挨拶のあと、議事に入りました。

理事会の様子



審議事項として、全改協加盟店アピール用のステッカーの作成(仮

称)ブロック会議の開催について審議しました。
続いて報告事項として、本年度の普及啓発事業四種類の進捗状況、IDF主催「ワールドデイルーサミット二〇一三」への参加、などについて報告があり、終了いたしました。それぞれの詳しい内容は、記事と重複いたしますのでここでは割愛させていただきます。四面に詳細を掲載しご説明しておりますので、お読みください。

会長会議の様子



平成二十五年度の 全改協事業

本年度は全改協事業として、①体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)、②啓発事業(妊産婦への牛乳促進)、③広報物配布事業(ミルクカレンダー)、④事例集発行事業(牛乳販売店優良事例)の四事業を実施しています。

ここでは、すでに行われている事業のうち、体験事業と啓発事業、ならびに広報物配布事業の三つについて、実施の報告をいたします。

授業の一環として貴重な社会体験 本年度も体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)を実施

体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)も本年度で三回目となりました。この事業は、授業の一環として職業体験が取り上げられている中学生を対象に、牛乳屋さんの仕事を体験してもらうことで、中学校教育に貢献すると同時に牛乳販売店の存在感を高めることを目的としています。子どもたちには早いうちから職業の疑似体験をさせることは、働く人と直接接し、また、実際の知識や技術・技能に触れる教育活動として重要視されています。

本年度は、北海道、秋田県、埼玉県、岐阜県、岡山県の五つの流改協から、合計十九名の参加申し込みがありました(昨年度並み)。本年度は秋田県と埼玉県で初めての実施です。毎年度、少しずつですが実施が増えており、全改協の社会貢献事業として認知が広がっていくことを願っております。

〈秋田県の実施の様を写真でご報告します〉



新年の必需品 ミルクカレンダー 今年もミルクレシピがお役に立ちます

例年お客様から好評をいただいておりますミルクカレンダーは、本年度も、毎月のミルクレシピのご紹介と、スマートフォン用のQRコードから



ミルクカレンダー 表紙

「ミルクサイト」「牛乳レシピ」にアクセスできるようにしており、毎日のレシピのお手伝いをいたします。

今年度のミルクカレンダーは、お料理講師を、ベテランの高城順子先生と新進の寺田真二郎先生のお二人が担当されています。それぞれ、先生方の特徴を活かしたレシピが載っています。

すでにお客様に配られたところと思いますが、有効にご活用ください。

事例集発行事業 (牛乳販売店優良事例 発表会)

優良事例発表会は、本年度の実施で第二十六回になります。去る十月十二日、全改協(東京都千代田区)にて、事例集発行事業(牛乳販売店優良事例発表会)の第一次審査を実施しました。

経営専門家(中小企業診断士)三名と全改協三役が、各都道府県から推薦された優良店十四店舗を対象に審査し、第一次審査通過店を選出しました。

次に、これら店舗に対して経営専門家が訪問調査を実施し、この時の情報をもとに十二月十三日に全改協において第二次審査が行われています。現在審査中のため、詳しいことをお伝えすることはできませんが、次号(第六十九号)にて、来年二月七日の中央発表会の模様と結果を詳しくお伝えいたします。

会議体の変更

来年度(平成二十六年)から (仮称)ブロック会議を設置します

都道府県流改協の活性化と全改協事業の推進を図る

会長会議開催の報告記事、理事会開催の報告記事でも触れましたが、来年度(平成二十六年)から(仮称)ブロック会議を開催します。

現在、通常総会開催直後に、各都道府県流改協の事務局長に東京にお集まりいただき、その年度の全改協事業の概要をご説明するとともに、事務局長の皆様同士の間、また都道府県事務局と全改協執行部の間のコミュニケーションや意見交換を図るため、都道府県流改協事務局担当者会議を開催しています。

また、全国都道府県流改協会長会議は、各都道府県の流改協会長に、同様に東京にお集まりいただき、全改協事業の進捗状況の報告や、懸案事項についてご報告し、ご討議いただく場です。

今回、理事会で検討いたしました結果、この二つの会議を一つにして、新しく(仮称)ブロック会議とすることにしました。

この点を考えた結果、「事務局担当者会議」と「会長会議」をひとつにして、新たに「ブロック会議」と編成し直すことが承認されました。

意義がありますが、反面、遠方からの参加は時間的にも経費的にも非効率

- よって不参加者が出る
- 地域ごとに、地域性や抱える問題に差があり、他地域との交流で必ずしも解決策が見いだせるとは限らない
- 大人数の参加の中では、発言をしにくいと感じる向きがある
- などの問題点がありました。また、事務局担当者会議と会長会議を別々に開催していたことについては、会長と事務局長に一緒に参加していただいた場で事業の説明を行うように変更すること、より深く正確に事業に対しての理解を深めていただくことができる、という改善点が期待できます。

● 実施時期は、通常総会から日をおかない時期

● 実施場所は、全国を四ブロック(*)に分け各ブロックで開催

● 対象は、都道府県流改協の会長と事務局長

● 全改協執行部は、会長、三役、事務局から出席します

事務局担当者会議、会長会議を廃止して(仮称)ブロック会議にする理由

都道府県流改協の活性化を図る

事務局担当者会議、都道府県流改協会会長会議ともに、東京で開催することは、皆が一堂に会するという点で

	現行	変更後 (平成26年度以降)
会議体	事務局担当者会議 会長会議	(仮称)ブロック会議
開催時期	総会終了直後(担当者会議)と 11月(会長会議) それぞれ1日	総会終了から日数をおかずに 各1日 計4日
開催場所	東京1ヶ所	全国4ヶ所 (現状では、検討中ですが、仙台、 東京、大阪、福岡の4ヶ所が候補 です)
対象者	都道府県流改協会長 (会長会議) 都道府県流改協事務局長 (事務局担当者会議)	都道府県流改協会長、事務局長

インフォメーション

ワールドデューリーサミット2013が開催されました

日本で22年ぶりに開催されたワールドデューリーサミット2013への参加についてご報告します。

酪農乳業界を代表する世界唯一の団体である、国際酪農連盟(International Dairy Federation, IDF)は、セミナー、シンポジウム、一般講演、ポスター発表や関連企業の展示等を一堂に集めて、毎年1回、「IDF ワールドデューリーサミット」を世界で開催しています。

今年は、10月28日から11月1日までの会期で横浜(パシフィコ横浜とパンパシフィック東急ほか)で開かれました。日本での開催は22年ぶりでした。

- 開催日……平成25年10月28日(月)～11月1日(金)
- テーマ……Rediscovering Milk 牛乳の再認識 一母なる大地からの贈り物

初日の開会式には、秋篠宮殿下がご臨席され、また林農林水産大臣が祝辞を述べました。開会期間中は、世界60か国から酪農乳業関係者、学術研究者らが集まり、参加者は約2,200名と過去最高でした。

全改協は日本の酪農乳業界の一翼を担うことから、今回日本で開催されるサミットを成功させるべく、参加者動員での貢献をいたしました。全国の各都道府県の流改協を通じて、参加希望者を募集した結果、全国から21名の参加申し込みがあり、10月30日(水)のプログラムに参加、聴講しました。

当日は、Jミルクの前田専務が座長を務める特別講演会「酪農政策・経済」で酪農輸出国、新興国の乳業の実態についての発表やアジアの酪農発展の可能性について講演が行われたり、ボストン大学のリン教授が座長を務めた特別講演「子どもとミルク」で、日本の学校給食における牛乳の役割について詳しい調査報告が行われ、海外からの参加者の関心を集めたりと、ふだんはなかなか接すること



ジャパンミルクコレクション2013の様子



ワールドデューリーサミット2013の様子

のできない貴重な場に参加でき、有意義な体験となりました。

なお全改協からの参加者については、サミット参加費用の全額と、旅費交通費の半額を全改協で負担いたしました。

また、当日は、隣接する大規模展示会会場 パシフィコ横浜にて、「ジャパンミルクコレクション2013」が開催されました。牛乳乳製品の商談会としては国内最大のもので、今回が初めての開催です。全国から出展者69団体、商品数850以上の展示会となり、食品メーカー、食品小売業、フードサービス業、栄養士、メディア、そして国内外の酪農乳業関係者などが集まり、参加者は約4,000名と、予想の3,000名を大幅に上回る盛況でした。

地方で活動しておりふだん目にする機会の少ない酪農乳業者の牛乳乳製品が多数展示され、日本の酪農、牛乳乳製品製造の奥深さを実感したおいしい展示会でした。

加盟店の皆様へステッカーをお配りします

配達車や店頭へ貼っていただく、「全改協加盟店のアピール」ステッカーを作りました。ぜひご活用ください。

平成23年度に設置された「改革委員会」は、理事会に対して、今後の全改協の改革についての答申書を提出しました。この中に、「全改協加盟店のアピール」として、看板、配達車、チラシ等に「この販売店は全改協の加盟店である」ということが一目でわかるように、統一マークのステッカー等を作成するという内容が含まれていました。

理事会ではこれを受け、ステッカー制作を決めました。近くこのステッカーが完成し、皆様の販売店にお配りできることになりましたのでお知らせいたします。

このステッカーは、こんな目的で作られました

- このステッカーは、**全改協の加盟店の皆様にお配りしています。**
- 重要** 全改協加盟店以外の牛乳販売店にはお渡しになりませんようお願いいたします。
- 皆様のお店が全改協の加盟店であることをお示しいただくツールです。
- 配達車のポデーや、お店の目立つところに貼っていただき、皆様の店と全改協のアピールに役立ててください。

このステッカーは、こんな特徴があります

- 「この販売店は全改協の加盟店である」ということが一目でわかるデザインです。
- 配達車や店頭へ貼ることを想定していますので、風雨や日光による退色、劣化が極力少ない材質・印刷を選びました。
- 材質は「ニューエコサイクル」という、環境調和型粘着フィルムを使用しています。「ニューエコサイクル」とは
 - 柔らかく、質感はPVC(ポリ塩化ビニル)に似ていますが、PVCを使用していない素材です。
 - 燃やしても、塩素系ガスの発生のおそれがありません。
 - 古紙として再利用できます。
 - 粘着剤には、溶剤に有機溶剤を使用しない、エマルジョン系の粘着剤を使用しています。
 - 剥離紙(裏の台紙)にはポリエチレンラミネート処理をしていないので、古紙として再利用できます。
 以上のように、すべての構成材が環境対応の素材となっており、しかもきれいにはがせるという優れた特徴を持つ素材です。

- はがしたあとの糊残りが少ないステッカーです。
- 廃棄後の環境負荷が少ない素材を使用しています。
- 流改協を通じて、各加盟店に一枚ずつ無料でお配りいたします。

追加でほしい場合は、実費でおわけいたします。流改協を通じてお申し込みください。くわしいことは追ってお伝えいたします。

注意していただきたいこと

- このステッカーは、全改協の加盟店であることをアピールするものです。全改協加盟店以外の牛乳販売店にはお渡しになりませんようご注意ください。
- 紫外線や熱、水に強い素材を使用していますが、長期間の使用により変色・劣化する場合がありますのでご了承ください。数年経って新しいステッカーが必要な際には、流改協を通じてお申し込みください。実費でおわけいたします。
- ラベルを貼る面の水やホコリ、油などはよく拭き取ってから貼ってください。
- フロントガラスや前方座席のサイドガラスに貼ることは法律で禁止されています。
- エアバッグ展開の妨げになる所には貼らないでください。
- ウィンドウフィルムを貼ってある箇所に貼り付けた場合、フィルムがはがれるおそれがあります。
- はがす際には、ヒートガン、ドライヤー、お湯等で温めるとはがしやすくなります

デザインは、お店のチラシや名刺にも

ステッカーのデザインは、全改協加盟店の統一マークとしてお使いいただく目的をもって作りました。

お店のチラシや名刺に、このデザインを大いにご活用ください。デザインのデータが全改協にありますので、ダウンロードしてお使いください。その際、デザインの変更は行わないでください(サイズの変更はかまいません)。



*こちらは制作途中です。みなさまへお届けするまでに、若干のデザイン変更を行う予定です。



迎春

本年もよろしくお願ひいたします



森永カルダス

消費者庁許可 保健機能食品 (特定保健用食品) ※乳製品乳酸菌飲料

日本人間ドック健康協会 推薦



生きたまま腸まで届く
ビフィズス菌で
お腹の調子を整えます!

- ミルクカルシウムが2倍(当社普通牛乳比)
- 森永独自のビフィズス菌(BB536)
- 鉄分1mg
- カルシウムの吸収を助けるビタミンD



カラダ強くするヨーグルト
ラクトフェリンと
ビフィズス菌BB536

宅配専用 1個 100g

新発売

ヨーグルトの可能性は
ここまで進化した。

カラダを守る話題の成分ラクトフェリンと
ビフィズス菌BB536、モラック乳酸菌を配合。
3つの力でカラダ強く。

- 3つの成分
- ラクトフェリン
 - ビフィズス菌 BB536
 - モラック 乳酸菌



森永乳業